



10月  
20回記念  
町民体育祭



9月 防災訓練



10月  
元年記念  
福祉のつどい



11月  
消防団操法大会

## 物故.....



伊藤績夫氏



伊東 巖 氏

## この一年を顧みて

# 歴史を彩る有意義な年

悲喜こもごもの思  
い出を残して、平成  
元年が過ぎ去ろうと  
している。

正月早々、天皇崩  
御の報に、深い悲し  
みにつつまれたのが  
まるで昨日のことの  
ように思い起される。

町でも、かつて町長をつと  
められた伊藤績夫、伊東巖両  
氏が相次ぎ他界された。

このような悲しい出来事も  
あったが、新時代のスタート  
にふさわしい明るい話題にも  
事欠かなかった。

仮装の見事さにわいた体育  
祭、一流の芸を満喫した福祉  
のつどい等は、元年を飾るに  
ふさわしい企画であった。

また、地元選手の大車輪の  
活躍が話題となった夏の高校  
野球では、郷土意識が一つに  
なつて、町中が甲子園に熱狂  
した。

新元号の年に花を添えた。  
事業面では、待望久しかつ  
た工業団地の造成工事が近々  
に着手されるほか、坂田池周  
辺の公園整備も、植栽が進む  
につれて風情を増している。

また、工業団地との複合開  
発として計画されたゴルフ場  
は、来秋のオープンを目指し  
急ピッチで工事が進められて  
いる。

こうした動きの中で、東金  
有料道路の大総新道直近への  
延伸が本決まりとなったこと  
は、これら一連の開発事業の意  
義を一段と高めるものであり、  
平成元年を飾るにふさわしい  
ビッグニュースとなった。

この恩恵を完全に生かすた  
めには、新道の中央部への延  
伸を何としても成し遂げなく  
てはならないわけだが、その  
他にも明年以降に残された行  
政課題は少なくない。

去りゆく年への感傷にひた  
る暇もなく、やがて新しい年  
がかけ足でやってくる。